

平成 27 年度

事業報告

社会福祉法人 名東福社会

目 次

名東福祉会のミッション	2
事業機構	4
利用者の状況	6
デイケア事業	11
メイトウ・ワークス	
天白ワークス	
はまなす	
レジデンス日進	
ナイトケア事業	21
相談支援事業	25
サービス品質の向上を目指した取り組み	32
安全委員会・安心委員会・接遇委員会・給食委員会	
機関誌「WORKS」編集部	
決算報告	36
施設・事業所一覧	

名東福祉会のミッション

● 名東福祉会のミッション（使命）

名東福祉会の使命は、東部名古屋地域の障害者ケアと、障害者ケアに関するあらゆるサービスを提供することを目的とする。

名東福祉会は障害者のクオリティオブライフを高めるため、名古屋市東部地域において、障害者のための継続的ケアを提供し、利用者の自由と自立の実現をめざす。

● 福祉サービスの基本的考え方

（1）健康

- ・利用者のクオリティオブライフを最優先した福祉サービスを提供する。
- ・利用者が可能な限り健康を維持・増進することができるように支援する。
- ・提供サービスの質を向上させるためにリスクマネジメントを行う。

（2）自己決定の支援

- ・地域に福祉団体と人の支援ネットワークを形成し、多様なプログラムによって利用者の生活を支える。
- ・生活スタイルを自ら選択することができるように支援する。
- ・利用者とその家族が設定した目標の実現に向けて多角的な支援を行う。
- ・利用者のニーズにあったプログラムの選択が可能なように柔軟な対応を実現する。

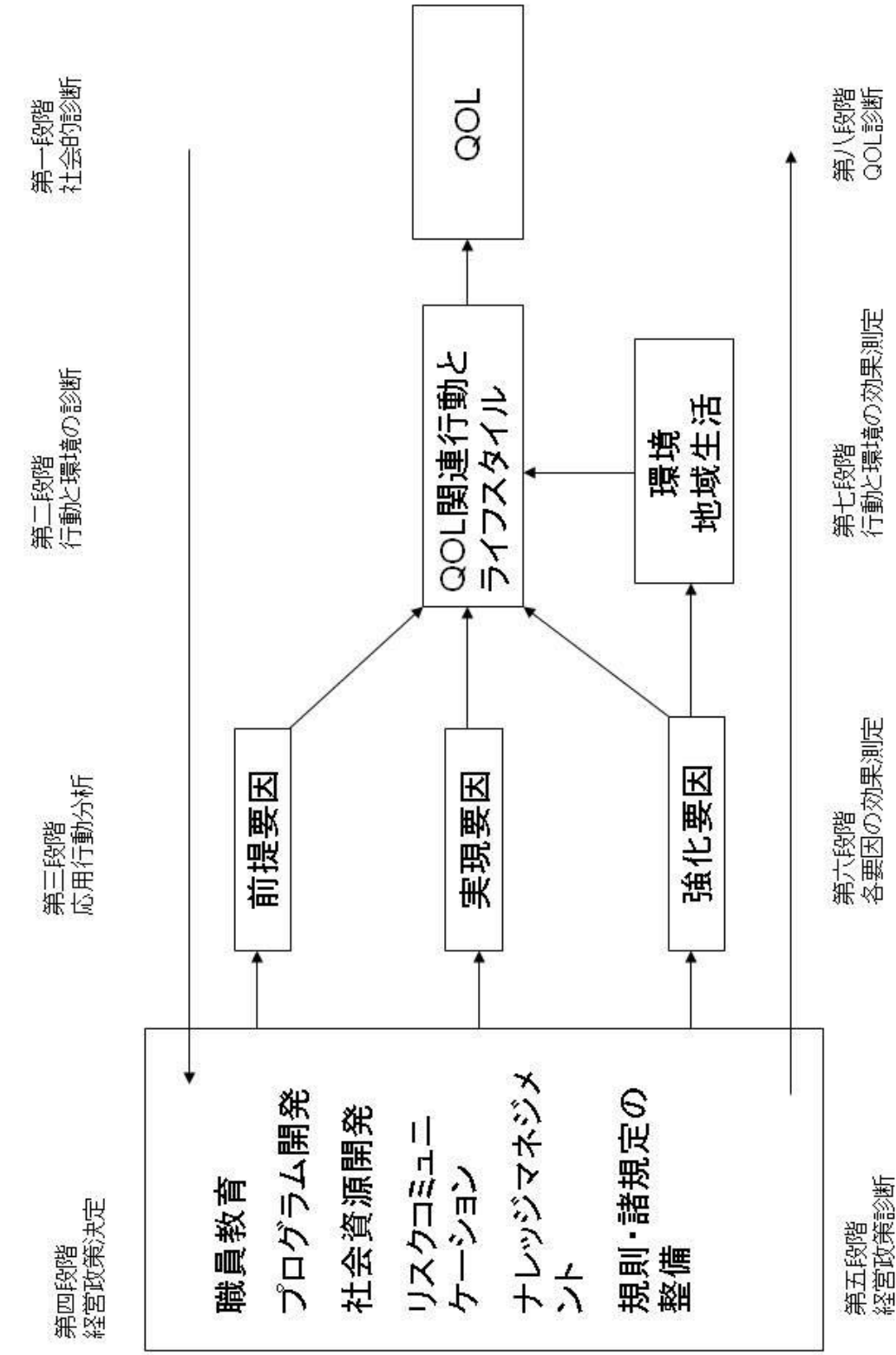
（3）個別支援計画にもとづいた処遇

- ・施設の運営方針と利用者のニーズに基づき、ニーズを満たすために必要な個別支援計画を立案する。
- ・個別支援計画の立案にあたっては、できる限り利用者本人・利用者の家族または親権者・障害者福祉に関わる専門家とともにこれを作成し、提供されるべき個別支援計画決定し、利用者、家族、職員、地域社会相互の満足を実現する。
- ・個別支援計画によって設定された目標の達成度を常にチェックする。
- ・関係機関が利用者のニーズと支援技法に関する情報を共有し、支援内容を継続的に改善する。

（4）提供サービスの妥当性の確保

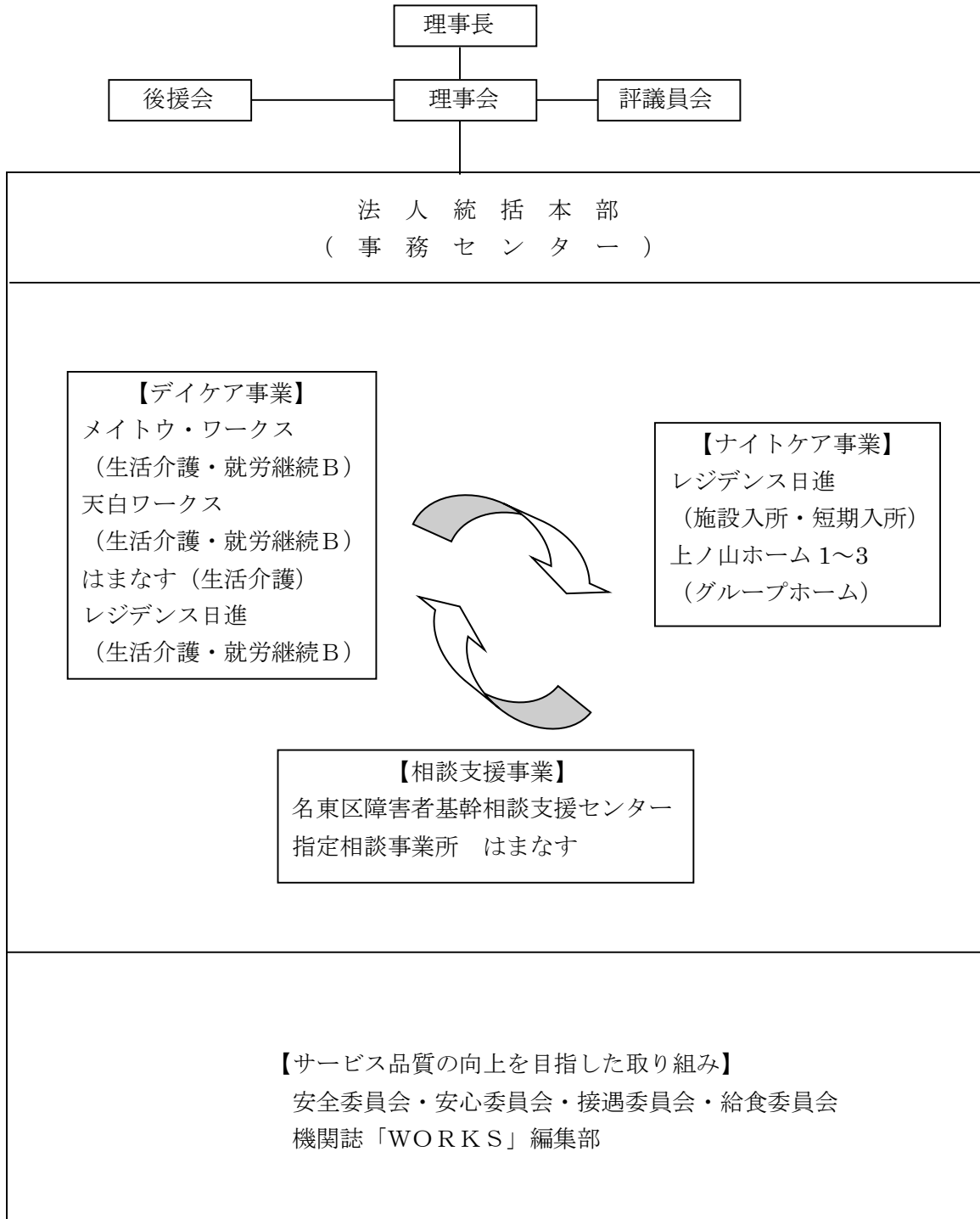
- ・利用者の権利を護るため自己チェック体制を整える。
- ・利用者とその家族がいつでも正当な権利を行使することができるようにサービスのあり方を常に見直す。
- ・情報公開に努める。

利用者のクオリティ・オブ・ライフの改善モデル



事業機構

1. 機構図



2. 職員構成（平成28年4月1日現在・計86名）

	理事長	本部長	事務員	所長	支援員 相談員		看護師	栄養士	医師
					男	女			
法人全体	1	1	3	5	34	38	2	1	1
メイトウ・ワークス				1	3	5	(1)		(1)
天白ワークス				1	5	5	(1)		(1)
はまなす				1	4	4	(1)		(1)
レジデンス日進				1	21	21	1	1	(1)
上ノ山ホーム				(1)					
名東区基幹C				1	1	2			
指定相談はまなす				(1)	(1)	1			

* レジデンス日進の支援員および栄養士、また看護師は、常勤換算前の実人数

* () は兼務

利用者の状況

(平成 28 年 4 月 1 日 現在)

名東福祉会は現在、342 名の方々から利用契約をいただき、名古屋東部地域を中心に、障害福祉サービスの提供を行っています。継続的に、デイケアおよびナイトケア事業を利用されている方が 160 名（うち 25 名が両事業を重複利用）、短期入所や日中一時支援事業等の契約者が 53 名、相談支援事業の契約者が 129 名となります。グループホーム利用者の中には、就労している方も 3 名みえます。

障害をもった方々の生活をトータルに支援できるよう、事業所間の連携を強化して利用者のニーズに応えていきたいと考えています。

1. 年齢分布

	～19歳		20歳～		25歳～		30歳～		40歳～		50歳～		計
	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	
メイトウ・ワークス		1	1	3		2	5	4	8	6	3	2	35
天白ワークス			2	2	6	2	4	2	7	6	3	1	35
はまなす			1		5	1	7	3	3	1	2		23
レジデンス日進						1	6	4	14	8	1	6	40
上ノ山ホーム						1	5	1	7	3	6	4	27
法人全体	0	1	4	5	11	7	27	14	39	24	15	13	160
	1		9		18		41		63		28		

2. 居住（出身）地分布

(1) 名古屋市内分

	名古屋市												
	名東	天白	緑	千種	昭和	守山	瑞穂	中村	中川	南	港	中	東
メイトウ・ワークス	24				1	3			1				1
天白ワークス	2	14	4		4	1			1	1			
はまなす	15	4		1	2	1							
レジデンス日進	7	7	5	1	1	2	1	1	1	1	1	1	
上ノ山ホーム	4	7		1	4	1	1	1		2			
法人全体	52	32	9	3	12	8	2	2	3	4	1	1	1

(2) 名古屋市外分

	名古屋市外							小計	市内小計	合計
	日進	春日井	尾張旭	瀬戸	江南	他県内				
メイトウ・ワークス	4					1	5	30	35	
天白ワークス	8						8	27	35	
はまなす								23	23	
レジデンス日進	6		1	1	2	1	11	29	40	
上ノ山ホーム	1	1	1	1		2	6	21	27	
法人全体	19	1	2	2	2	4	30	130	160	

3. 障害の程度：障害支援区分認定結果

	1		2		3		4		5		6		計 (平均)
	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	
メイトウ・ワークス			2	2	3	1	6	7	3	3	3	5	35(4.3)
天白ワークス			1		3	1	10	5	6	5	2	2	35(4.3)
はまなす					1		4		8	2	5	3	23(5.1)
レジデンス日進							2	2	7	6	12	11	40(5.5)
上ノ山ホーム			1		5	2	7	3	5	3		1	27(4.0)
法人全体	0	0	4	2	12	4	29	17	29	19	22	22	160
	0		6		16		46		48		44		

4. 障害の種別

(1) 主たる障害

	広汎性発達障害		ダウン症		知的障害		重症心身		計
	男	女	男	女	男	女	男	女	
メイトウ・ワークス	8	8	2	3	6	6	1	1	35
天白ワークス	12	4	5	1	5	8			35
はまなす	12	1	4	1	2	2		1	23
レジデンス日進	13	7	1	1	6	9	1	2	40
上ノ山ホーム	10	5	1		7	4			27
法人全体	55	25	13	6	26	29	2	4	160
	80		19		55		6		

(2) 重複障害

	肢体		視覚		聴覚		内部		精神		延計
	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	
メイトウ・ワークス	1	2			1		1	2			7
天白ワークス	1	3			1		1				6
はまなす		2		1							3
レジデンス日進	3	2				1		1			7
上ノ山ホーム			1		1	1			3		6
法人全体	5	9	1	1	3	2	2	3	3	0	29
	14		2		5		5		3		

5. 利用期間

	～1年		1年～		3年～		5年～		10年～		15年～		計
	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	
メイトウ・ワークス	1	1	1				1	6	6	4	8	7	35
天白ワークス	1	1			3	5	9	1	4	3	5	3	35
はまなす					2		3		2	3	11	2	23
レジデンス日進	1			1	4	7	3		13	11			40
上ノ山ホーム			1	1	8	8	9						27
法人全体	3	2	2	2	17	20	25	7	25	21	24	12	160
	5		4		37		32		46		36		

6. 月別平均利用者数

	定員	4月	5月	6月	7月	8月	9月
メイトウ・ワークス	37	32.7	31.1	31.1	30.9	30.6	29.3
天白ワークス	35	30.4	30.4	31.3	31.6	31.4	29.8
はまなす	25	21.9	22.3	22.0	22.1	22.2	21.1
レジデンス日進	40	38.3	37.4	39.4	39.2	37.6	38.7
上ノ山ホーム	27	26.4	25.3	26.4	26.3	25.2	25.8

10月	11月	12月	1月	2月	3月
29.7	28.1	28.2	27.5	28.6	29.7
31.6	32.2	31.8	31.1	31.8	32.4
22.2	22.1	22.2	21.6	22.1	20.8
39	38.8	37.5	36.2	38.3	40
26	26.1	26	24.7	26.4	26.1

今年度平均	前年度平均	
29.8	33.0	メイトウ
31.3	30.5	天白W
21.9	22.1	はまなす
38.3	38.1	レジデンス
25.9	25.7	上ノ山H

7. 短期入所事業利用者数：レジデンス日進・定員7名

4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
155	116	127	131	99	104	122	137	116	100	102	126	1435

8. 日中一時支援事業利用者数：レジデンス日進・定員7名

4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
5	3	4	7	5	3	4	7	5	5	7	8	63

* 日中一時契約市町村：名古屋市・日進市・長久手町・尾張旭市

9. 通所施設時間延長サービス利用者数（16：00～17：00）

	4月	5月	6月	7月	8月	9月
メイトウ・ワークス						1
天白ワークス				1		
はまなす	6	9	10	7	8	8
法人全体	6	9	10	8	8	9

10月	11月	12月	1月	2月	3月	計	
						1	メイトウ・ワークス
		1				2	天白ワークス
15	6	8	10	6	8	101	はまなす
15	6	9	10	6	8	104	法人全体

デイケア事業

名東福祉会は、昭和 57 年にメイトウ・ワークスを開所して以来、質の高い日中プログラムの提供を目指してきました。

人の暮らしの質を考える場合、やはり日中の過ごし方の重要性は第一と言えます。施策や制度の動向を踏まえながら、利用者のニーズに基くサービス提供の姿勢を保ち、多様な選択肢をご提案していきたいと考えています。

メイトウ・ワークス

ここ数年、作業を中心とした日中活動を行うことで安定した生活を過ごすことができるようになった。27年度は生活介護の外出企画の再開や定期的なイベント、創作活動の導入を目指した。マニュアル化することでスムーズなイベント運営が行われた。陶芸部門で創作活動を導入し、販売目的とは違った作品が生まれた。新年度は陶芸のみならず、創作活動を導入し、活動の幅を持たせていきたい。

自主製品の販路拡大と新製品の開発が課題となっている。年度の後半にはインターネットを利用した販売を開始した。まだまだ売り上げUPにはつながらないが、情宣をかねて進めていきたい。

1. 各事業共通

(1) 作業種目と年間売上状況（単位：円）

	陶 芸	縫 製	下請他	計
平成 27 年度	327,550	1,933,938	284,834	2,546,322
平成 26 年度	360,510	1,829,392	350,916	2,540,818

(2) 作業内容

● 縫製作業

変身ぬいぐるみの製作。全国の保育所や子育てサークルから注文を受ける。作業工程が多く、能力に合わせた作業があり、多数の利用者が参加する。

● 陶芸作業

動物はし置き、季節の人形、お皿などの小物陶器を製作。土に触れる、型抜き、成形、素焼きの絵付け、焼成後の仕上げなど多くの作業がある。

● 下請け作業

自動車部品の組み立て、部品の袋詰めなど、作業内容が明確で利用者に分かりやすいプログラム。

(3) 利用者給与支給状況

- ・就労継続支援B型 時給 70 円（最も多い方で 7,080 円／月）
夏冬賞与（最も多い方で 12,495 円）あり。工賃総額 816,120 円
- ・生活介護 日給 100 円 夏冬賞与あり。工賃総額 618,275 円

(4) レクリエーションプログラム・イベント

レクリエーションプログラムは生活介護を中心に行っているが、交流行事は全体で取り組んだ。

● リラクゼーションプログラム

- グループハイク
- 音楽療法
- 全体行事
 - ・クリスマス会（ポケットの会）
 - ・バレンタイン企画（めいとう朗読会）
 - ・家族会ボランティア交流会
 - ・あそび広場（高針北保育園交流）
 - ・書初め発表会

（５）地域交流

年間延べ 521 名のボランティアに来所いただいた。作業やイベントに参加いただき、利用者との関わりを深めた。

高針北保育園「あそびひろば」に招待参加。名東の日（区民まつり）、平和の丘春まつり、めいとう福祉まつり、エコフェスタなど地域で行われるイベントバザーに参加して交流を深めた。

（６）地域貢献

- ・地域の町内会や子供会など休業日や夕方、施設の空き部屋をご利用いただいた。
- ・隣接するコミュニティーセンターと連帯して、地域のイベントを行った。
- ・駐車場を南自動車図書館（あおぞら号）の巡回ポイントとして利用いただいた。
- ・隣接する保育園の送迎時間帯に駐車場をお貸しして、路上駐車軽減に貢献した。
- ・地域の中学生の福祉体験や職場体験を行った。
- ・大学生の介護体験や名古屋市職員の新人研修など随時受け入れた。

2. 就労継続支援B型事業

通所による就労や生産活動の機会を提供するとともに、一般就労に必要な知識、能力を身に付けられるよう支援した。作業の準備から納品まで自主的に行動できるよう支援した。隔週で利用者会議を行い、作業やスケジュールなど利用者同士で確認した。

3. 生活介護事業

作業を中心とした活動を行うことで、社会参加と日中生活が安定するよう支援した。余暇支援として、音楽活動、季節行事、グループハイク、ウォーキングなどを行った。又、リラクゼーションプログラムとして足湯やアロマセラピーなど行った。

天白ワークス

27年度は事業計画において、陶芸を天白ワークス独自のサービスとして事業のブランドとして定着させていくこと、また、分場から本体に戻ったクッキー作業を、地域に広め認知していただくことを基本方針として事業活動を行った。

この基本方針に基づき、陶器やクッキーを各種イベントや作品展に出品すると同時に、天白ワークスの建物前に展示即売所を設け紹介を行った。

陶器については作品展などを通じて注文を頂いたり、クッキーも近隣の方から店舗での購入をしていただけたりと、少しずつ認知度が上がってきている。

28年度は家族会の協力により、広く利用しやすく整備された駐車場を活用し、オープンカフェの設置と、陶芸作品展の開催をおこない、より広く、近隣の方に天白ワークスを知っていただくよう努めていく。

1. 各事業共通

(1) 作業種目と年間売上状況（単位：円）

	陶 芸	焼き菓子	精 米	下請け他	計
平成 27 年度	768,621	1,703,768	0	779,017	3,251,406
平成 26 年度	3,070,058	1,971,924	308,980	825,359	6,176,321

(2) 作業内容

● 陶芸

食器(コップ・皿)、置物、マグネット等を製作。形成、水拭き、絵付け・釉掛け、仕上げを行う。

● 焼き菓子

クッキー・パウンドケーキ等の焼き菓子を手作りで製造し販売している。材料の準備、計量、生地づくり、成形、袋詰め、包装の工程を、利用者が役割分担している。

● 精米

27年度は精米を行っていた作業室にてクッキー作業を再開したため休業した。

● 下請け

部品の組み立て、製品の袋詰め等、工程がわかりやすく、納期に余裕がある作業を導入している。作業工程を細分化・構造化することで、多くの利用者が参加している。

(3) 利用者給与支給状況

生活介護 100円／日 平均工賃額 2,944円

就労継続支援 基本給・評価給 平均工賃額 8,833円

夏・冬賞与あり

工賃総額 1,943,250円

(4) レクリエーションプログラム・イベント

生活介護を中心に行っているが、グループハイク・交流会・クリスマス会は、就労継続B型の利用者も会議による話し合いによって参加を決めている。

- グループハイク
グループ別に場所や内容を選んで参加
- 音楽療法
月2回 講師によるミュージックケア 2グループに分けて利用
- 家族交流会
利用者・家族・ボランティア・職員の交流を目的に実施。今年度は蒲郡に出掛けていちご狩り、食事を通して交流を深めた。
- クリスマス会
ゴスペルグループによるクリスマスコンサート
- スポーツ大会
ソフトボール大会、フットベースボール大会に参加

(5) 地域交流

- ・天白区区民まつり
- ・あけぼの学園の祭り
- ・御前場秋祭り
- ・近隣にお住いのボランティアさんが活動の可能な日・時間で参加いただいている。

(6) 地域貢献

教職課程履修の大学生の介護体験実習

2. 就労継続支援B型事業

作業をし、給与をもらい、余暇活動を楽しむことを流れとして理解して頂けるように支援を行った。

工賃に評価給を導入し、正確に継続的に作業することの意味や大切さを意識していただけるよう支援した。

また、工賃支給日は外食日とし、働いた成果を実感して頂けるようにした。

月1回の会議で仕事、対人関係や余暇活動等の日程や参加を話し合いで決めた。

(利用者が司会・記録を務めている)。

3. 生活介護事業

利用者の個々の特徴(コミュニケーションスキル、支援度、活動)に合わせたグループ別に、作業を提供した。

作業を通じて社会とつながり、貢献していくことを目指した。

健康支援としてウォーキング、リフレッシュプログラムとして散歩をおこなった。

はまなす

午前は作業プログラム（下請作業等）を、午後はレクリエーションを主体とした活動を行った。レクリエーションにおいては、今年度途中より、陶芸の時間（隔週）を導入して、専任職員の指導のもとで実施した。また、出来上がった作品は展示会等に出品した。これまで創作活動に携わっていなかった利用者が、活動に参加できるようになり、利用者個々の新たな一面（才能）を垣間見ることができた。

今後も、現状の作業量の確保と、レクリエーションの内容の向上を目指して、利用者に満足していただけるプログラムを提供していきたい。

生活介護事業

（１）作業種目と年間売上状況（単位：円）

	下 請
平成 27 年度	112,378
平成 26 年度	123,625

（２）作業内容

ナット・ワッシャーの袋詰め、ボルトのナット止め、ポケットティッシュの包装等

（３）利用者給与支給状況

500 円／月 工賃総額：136,000 円

（４）レクリエーションプログラム・イベント

● 通常のレクリエーション

毎日午後の時間帯にカラオケ、リラクゼーション、スポーツ、音楽、お菓子作り、創作活動、身体活動等のレクリエーションを行った。レクリエーションの内容を曜日ごとに固定化し、利用者により分かりやすいようにした。

● 散歩

公用車を使用して近隣の公園や公共施設へ出かけ、散歩、散策を行った。気分転換、健康増進、一般の方々との交流などを目的に、午前、午後とメンバーを替え実施した。

● ソフトボール大会への参加

5 月及び 10 月に小幡緑地西園球技場において、天白ワークス、レジデンス日進との合同チームで大会に参加した。

● スポーツ大会

6 月 19 日午後より名古屋市障害者スポーツセンター体育室において、家族会と合同で小運動会を行い、家族会やボランティアとの交流を深めた。

● プール活動

7 月から 8 月にかけて小グループにて、名古屋市障害者スポーツセンター室内プールを利用した。

● 夏まつり

8月11日午後から事業所内において、ゲームや軽食などで楽しんだ。

● グループハイク

4月及び9～10月の2回、小グループによる日帰り旅行を実施した。前期は豊橋市動植物園、エアパーク航空自衛隊、リトルワールド、竹島水族館、中部電力川越電力館へ、後期は半田空の科学館、南知多ビーチランド、ジョイフルファーム鶉の池、浜名湖体験学習施設ウォットへ各グループで出かけた。

● フットベースボール大会への参加

11月5日に鶴舞公園陸上競技場において、天白ワークス、メイトウ・ワークスとの合同チームで大会に参加した。

● 家族交流会

11月6日に利用者、家族会、ボランティア、職員間の親睦交流を目的として、日帰り旅行を実施した。名古屋市身障者福祉連合会福祉バスを利用し、竹島水族館、竹島を散策した後、ホテル竹島へ会場を移して会食をし、利用者の一年間の活動をスライドを見ながら振り返った。

● クリスマス会

12月16日午後から事業所内において、音楽活動などで楽しんだ。

(5) 地域貢献

5/24 高針台一丁目町内会一斉清掃

8月 極楽学区盆踊り大会協賛金協力

10月 秋の祭礼「たかほくまつり」へバザー品を提供協力

11/29 高針台一丁目町内会一斉清掃

また、区内中学生の福祉体験、職場体験等の受入れや、名古屋市新規採用職員研修、ホームヘルパー実習及び大学・専門学校からの学生実習も随時受入れた。

レジデンス日進

毎日、同じ時間帯に作業をおこない、健康維持やリフレッシュの為にウォーキング・散歩・レクリエーションが安定して提供できるようにした。

生活介護では季節に合わせた行事、講師による和太鼓、音楽療法やボランティアさんの来所、セラピー犬の来所。又、行事の際に隣接の学童保育所の児童に参加していただいたり、日進市の社会福祉協議会にボランティア登録されている団体に出し物をしていただき外部との交流を持った。作業ではプログラムの材料を B 型から提供してもらい作業収入にもなっている。就労継続支援 B 型は近隣企業から仕事を受注し、利用者個々の状況に合わせて仕事を分担し、工賃として支給した。月 1 回の工賃支給日の外食は継続して行っている。

今後は、生活介護では収益のある作業の導入、就労継続 B 型では安定した仕事量を確保するために自主製品作業を検討していく。

1. 各事業共通

(1) 作業種目と年間売上状況（単位：円）

	下請他
平成 27 年度	1,378,760
平成 26 年度	987,064

(2) 作業内容

施設近隣の会社からの下請け作業（自動車部品の組立て、ガス器具の部品組立、水洗トイレの部品組立など）を主な作業（生産活動）として提供している。

(3) 利用者給与支給状況

年間総計で 1,177,490 円を利用者に還元している。内訳としては、生活介護事業対象者に夏期及び冬期の賞与一時金として 227,200 円、就労継続支援 B 型事業対象者は 950,290 円を支給している。

(4) レクリエーションプログラム・イベント

レクリエーションプログラムは生活介護を中心に行っている。イベントプログラムでは、季節ごとの企画として、お花見（ご近所の喫茶店にお弁当を依頼）4/3、流しそうめん 7/7、なつまつり西学童保育所の学童の方を招いてゲーム大会 8/12、クリスマス会 12/24、初詣 1/5、節分豆まき 2/3、等を実施。

ゴルフ大会招待観戦（中京テレビ・ブリヂストンレディースオープン）（5/22）に参加。バスハイクとして生活介護利用の方が 9/30 に「掛川花鳥園」へでかけた。就労継続支援 B 型利用の方が 10/7 に「青蓮寺湖観光村」へ出かけた。

毎月、第 2 金曜日に和太鼓、第 4 金曜日に音楽療法をそれぞれ専門講師に来て頂いて実施している。

年に 2 回(5 月・10 月)に法人合同チーム(天白ワークス・はまなす)でソフトボール大会に

参加している

27年1月より、第2、4火曜日に訓練を受けたセラピー犬が数頭来所して交流している。

(5) 地域交流

「レジデンスまつり（あきまつり）11/28」においては、地域との交流を目的として、近隣地区の方をお招きして模擬店やゲーム等の催し物に参加していただいている。

日進市の障害者団体連絡会主催のクリスマス会(法人嘱託医中心のドクターズバンドのコンサート)に参加。12/6

又、個人のボランティアとして、日進市民生委員活動から継続して参加して頂いている。

(毎月第2木曜日、第4火曜日)

あじさいコンサート(日進市内の他事業所主催に協賛) 日進市民まつりに参加

日進市チャレンジド夏祭りに出店

(6) 地域貢献

大学・専門学校からの保育士実習を受入れている。隣接した日進西学童保育所、動作法グループ(つばさの会)、子育て支援グループ、地域の市民グループに「デイサービス2階」及び「地域交流スペース」の貸出しを実施している。

2. 就労継続支援B型事業

就労継続支援B型事業(定員10名)を日進市上ノ山の作業棟で生産活動(下請け作業が中心)を提供している。働くことの意味・工賃を意識していただけるよう支援した。また、毎月の工賃日には、近隣の中華料理店に昼食を食べに出かけている。中華店の皆さんとも顔なじみとなり、活動のメリハリや働く力、励みとなっている。

3. 生活介護事業

生活介護事業(定員30名)をデイサービス1階・2階で行っている(利用者の個々の状況でグループ分けしている)生産活動とレクリエーションプログラムと組み合わせて日中活動を展開している。健康促進の為、デイサービス1階は隣接している「三ッ池公園」を散歩、デイサービス2階は室内を30分間ウォーキングしている。

* 参 考

	メイトウ・ワークス	天 白 ワークス	はまなす	レジデンス 日 進	法人全体
陶 芸	327,550	768,621			1,096,171
縫 製	1,933,938				1,933,938
焼き菓子		1,703,768			1,703,768
精 米					0
下請け他	284,834	779,017	112,378	1,378,760	2,554,989
計	2,546,322	3,251,406	112,378	1,378,760	7,288,866

H26 年度	2,540,818	6,176,321	123,625	987,064	9,827,828
H25 年度	2,613,636	4,596,367	118,830	846,077	8,174,910
H24 年度	2,883,730	4,997,486	140,265	537,219	8,558,700

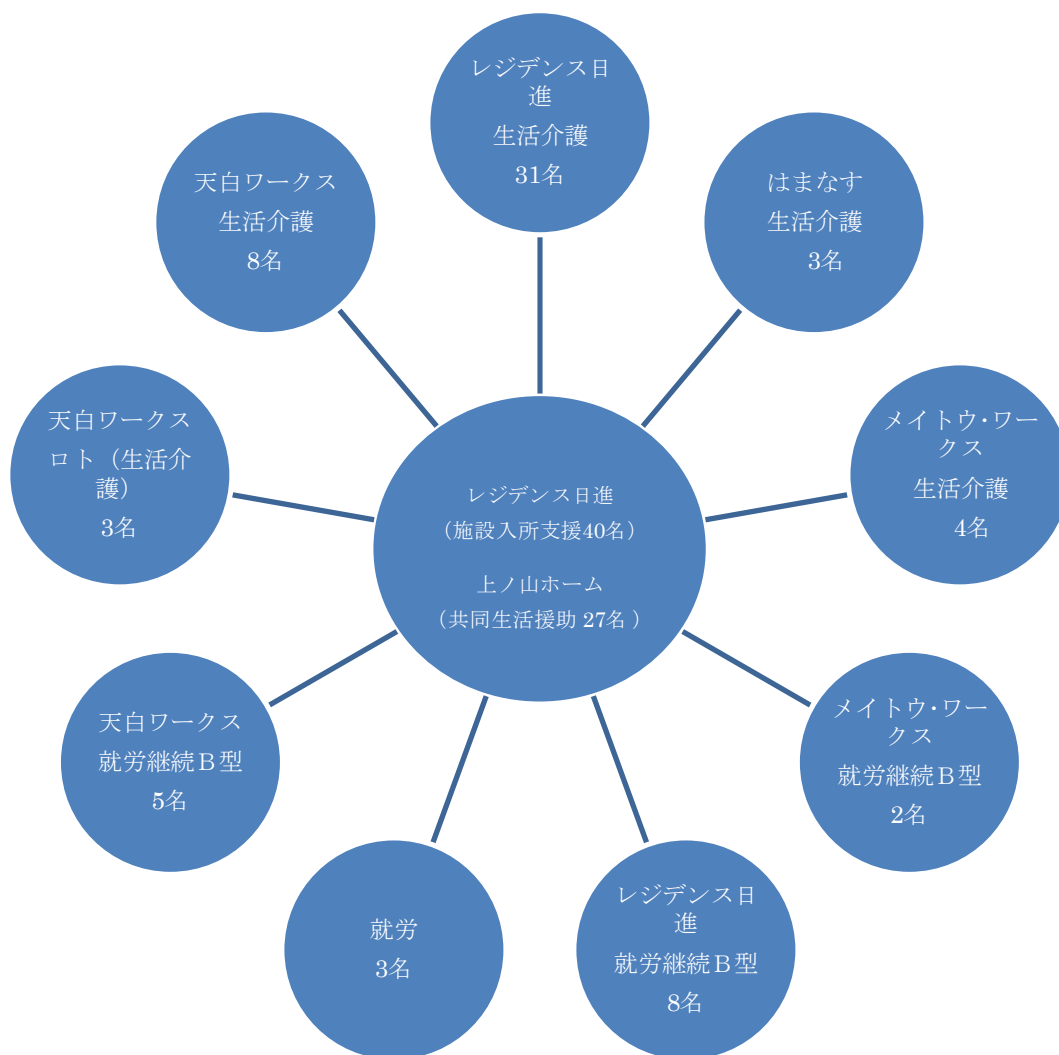
ナイトケア事業

名東福社会では、レジデンス日進を生活支援の拠点としてグループホームを展開しています。レジデンス日進の4つのユニットに加えて、上ノ山ホームもユニットと考え、ナイトケアのノウハウを生かすことで、安定したサービス提供を図ります。

今後、ナイトケア事業への期待は高まるばかりですので、健康で快適な生活の場を提供できる支援体制を創造していきます。

1. 生活の場と日中活動の場の連携

日中の活動場所が多岐に分かれる為、レジデンス日進及び上ノ山ホームと日中活動事業所との連携は不可欠になる。事業所の支援員間で利用者個々の様子・健康面等での伝達事項を積極的に共有するようにしている。



2. ナイトケア事業間の連携

施設入所支援及び、共同生活介護における職員配置は、レジデンス日進の職員を軸にシフト配置されている。また、法人の通所事業所の職員による夕方からの、生活支援（夕食・入浴など）を中心にバックアップの体制を継続している。

上ノ山ホームは、平成 24 年 6 月より増設（18 名 2 住居）合計定員を 27 名（3 住居）になり、その為、より一層の連携が必要になっている。利用者の病時における通院支援は、看護師を中心にレジデンス日進職員及び必要に応じて、法人内職員でバックアップ体制をとり、緊急時に対応している。

3. ユニット単位の支援

レジデンス日進（施設入所支援）は1ユニット10名程度のユニット単位、同様に、上ノ山ホームでも1住居（ユニット）9名での生活支援を基盤にして個別対応を中心としたニーズの充足に留意している。特に、入浴は、各ユニット（住居）に浴槽2個を設置しており、毎日、個別に入浴している。また、共有スペースには、テレビ、テーブル、椅子等を配置して、朝、夕の食事はもとより、利用者がくつろげる空間としている。

4. 健康管理

レジデンス日進及び上ノ山ホームのナイトケア事業所における健康管理の重要性を踏まえ、看護師が中心となり、現場支援員との連携を図りながら取り組んでいる。年2回（6/10、12/9）の定期健康診断を実施。個々の状態により毎日・毎週の体重・血圧測定を実施。又、訪問歯科検診（9/10）、インフルエンザ予防接種（11/16）を実施した。

生活習慣病予防対策として、対象利用者は毎朝（休日は除く）及び午後からの時間を利用して30分間のウォーキングを実施している。また、感染症対策（発症時の対応マニュアル整備）、通院支援として体調不良の利用者に対しての早めの医療機関への受診、精神科、歯科、眼科、皮膚科への継続受診も支援している。往診（月2回）を含め嘱託医を中心とした地域医療機関との連携に留意している。

利用者個別の「体調シート」を作成し、利用者の毎日の体調および傷や怪我の位置（入浴時にチェック）、状況を記入し、状態の把握・共有を図り適切な支援・介護に努めている。

また、緊急対応マニュアル（てんかん発作時の個別対応シート含む）は、各ユニットに設置している。夜間帯にも6名の職員が勤務しており、緊急時にも連携をとり、より早く対応できるよう努めている。AED（自動体外式除細動器）を設置している。

5. 防災対策

災害時用の備蓄（7日分）、緊急マニュアルの整備、避難誘導訓練をおこなっている

6. 金銭等の管理

レジデンス日進及びホーム利用者の財産管理について、「施設利用者の年金等取扱要領」に従い、適正・確実を旨としておこなっている。年金及び現金管理をしている利用者には行政等の手続きの代行もしている。年金管理を家族、後見人等に任せている利用者には現金のみ事業所が預かり、管理している。

7. 季節行事

なつまつりとして8/12 夕食後にかき氷・花火をレジデンス日進・上ノ山ホーム合同で実施した。12月は、家族会からクリスマスの飾りつけ、クリスマス会12/24にはサンタクロースに扮してプレゼントを届けて頂いており、利用者を楽しませている。1/17お餅つき（利用者の古希のお祝い1名）ご家族に協力していただく行事として、「はるまつり（たけのこまつり）4/25」「あきまつり（レジデンスまつり）11/28」を企画・実施している。

給食では年末・年始、節分・ひなまつり・端午の節句など時季に合わせた献立を考慮して

いる。

今年度は利用者の意向、趣向、障害の特性を踏まえた個別支援計画の重要性を再確認して支援をおこなった。利用者個々の健康管理、食事提供、環境整備についても現状と課題、対応を各ユニットの担当者が中心となり、支援方法を職員間で検討することに力を注いだ。

レジデンス日進・上ノ山ホームともに、ご家族の加齢により定期的な帰省が困難になっている方が目立ってきている。今後はヘルパーなどの他サービスの利用だけでなく、休日の余暇支援の充実を図っていきたい。また、救急・防災の意識・対応力を高める為、避難訓練を継続的に行い、緊急時のマニュアルを周知していく。

相談支援事業

名東福祉会は発足当初から、地域にお住まいの障害のある方々の支援を積極的に行ってきました。当事者の意向に沿った地域生活支援の重要性は増すばかりですし、そのためのネットワークの構築は必須です。

そんな中、名東区障害者基幹相談支援センターは、総合相談や地域づくりといった地域生活支援の拠点機能を担っていきます。

また、はまなすには指定特定相談支援事業所を併設し、計画相談の提供を行っています。

名東区障害者基幹相談支援センターきふね

1. 相談業務

(1) 新規相談の状況

平成 27 年度の新規相談者実数、内訳等は以下の通り。相談受付作成分のみをカウントしている。計画相談の利用が進んだことで、サービス利用では解決しづらい課題や、サービス利用につながるまでの相談が目立つようになっている。

【居 所】

	名東区	天白区	緑区	他県	計
相談者数	31	1	2	3	37

【年齢・性別】

	児童（～17歳）	成人（18歳～）	計
男	3	13	16
女	0	18	18
不明	2	1	3
計	5	32	37

【障害種別（複数カウント）】

種 別	身体	重症 心身	知的	精神	発達 障害	高次 脳機能	不明・ 無手帳
相談者数	15	1	13	8	5	0	1

【相談内容（複数カウント）】

	サービス 利用	障害・症 状の理解	健康・ 医療	不安解消・ 情緒安定	保育・ 教育	家族関係・ 人間関係
相談件数	30	12	11	7	7	20

家計・ 経済	生活技術	就労	社会参加・ 余暇活動	権利擁護	その他
14	8	12	4	4	18

(2) 相談受付の状況（新規相談を含む）

平成 27 年度に関わった相談者数、内訳等は以下の通り。相談受付の作成までには至らなかったケースも含まれており、1年間の相談支援実績そのものと言える。

単身生活を送る方や、家族にも課題を抱える多課題世帯の相談が基幹相談支援センタ

一につながる事が多く、他の専門機関との連携がますます重要になっている。また、指定事業所が関わっているケースについても、支援方針等について助言を求められる事が多く、地域の支援者を支える役割も果たしつつある。

【居 所】

	名東区	天白区	緑区	中川区	他県	不明	計
相談者数	88	1	3	1	7	25	125

【年齢・性別】

	児童（～17歳）	成人（18歳～）	計
男	11	44	55
女	1	47	48
性別不詳	3	19	22
小計	15	110	125

【障害別（複数カウント）】

種 別	身体	重症心身	知的	精神	発達障害	高次脳機能	不明・無手帳
相談者数	38	5	42	19	7	0	14

【相談内容（複数カウント）】

	サービス利用	障害・症状の理解	健康・医療	不安解消・情緒安定	保育・教育	家族関係・人間関係
相談件数	95	23	38	26	11	55

家計・経済	生活技術	就労	社会参加・余暇活動	権利擁護	その他
39	31	28	15	10	55

(3) 月別実績

基幹相談支援センターとして2年目となった。本年度は3年に1回の認定調査の更新者が多くなる年で、前年度より100件近く調査数が増えているが、訪問数・計画相談実績もともに伸びている。相談者の利用スケジュールに合わせて計画作成やモニタリングを行うため、認定調査業務の大きさにも影響を受けにくいと考えられる。訪問数も計画相談に引っ張られる形で増加していると思われる。

		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
相談	訪問	48	33	31	36	30	44	37	31	26	21	34	45	416
	外来	47	38	41	50	49	57	40	46	28	35	45	47	523
認定調査		28	29	26	38	28	16	27	35	28	32	19	24	330
配食アセス		0	0	3	0	4	0	5	2	1	2	2	3	22
計画相談	案	5	2	4	1	4	3	0	0	1	2	0	5	27
	計画	4	3	2	4	2	2	2	0	0	0	0	2	22
	モニタ	1	4	5	8	6	3	4	4	7	1	4	2	49

2. 名東区障害者自立支援連絡協議会

障害者自立支援連絡協議会は、地域で暮らす障害のある方々やそのご家族の抱える生活課題を、地域の様々な立場の方々が協働することによって解決していこうという仕組みである。

名東区では、区福祉課・保健所・基幹相談支援センターが事務局となり、当事者団体や事業者の代表、社会福祉協議会で構成している。

9年目を迎えて機構を改編し、各部会の取り組みや計画相談の状況から、全体会で地域課題を検討するという流れを明確にした。また、区内の事業者のつながりを促す取り組みや、次年度に施行される障害者差別解消法の周知にも力を入れた。

今後は、高齢や医療・教育といった隣接領域との連携の強化や、共通の課題毎に他区の協議会とも連携していく動きが求められていくと考えている。

	開催数	主な内容
全体会	4回	各部会の報告から地域課題を共有・検討した。次年度から施行される差別解消法についての学習も行った。フォーマル・インフォーマルを含めた人材の開拓・確保も話題となった。
事務局会議	11回	全体会での議論や相談支援事業を通じた地域課題の共有・検討を行った。隔月で事例検討も行った。他区の相談支援や高齢分野、医療との連携の必要性が明確になった。
まもる部会	12回	個別事例を通じて、「本人中心」の支援について検討した。差別解消法や生活困窮者支援の楽手も行った。
しる部会	12回	本人や家族向けに成年後見制度の学習会を開催した。事業者ガイドブックや余暇支援のあり方についても検討している。
うごく部会	12回	ヘルパー空き情報の支援者間の共有を継続している。余暇支援のための情報紙として「どこいこめいと」の発行を始めた。
そだつ部会	8回	区内事業所を中心に、課題の共有・検討を行った。東部地域療育センターの担当区である千種区・守山区と、支援者を対

		象とした 3 区合同セミナーを開催した。教育との連携や不登校児への対応等が課題として挙げられている。
事業者連絡会	2 回	1 回目は弁護士を招いて「差別解消法」の学習を、2 回目は精神科医を招いて「発達障害」の学習を行った。併せて、区内事業者のつながりを促す機会とした。
その他	1 回	他区の子ども関係部会に声をかけ、実施状況や課題の共有を行った（7 区が参加）。

3. 関係機関・団体との連絡調整会議／職員の講師派遣

行政や地域の関係機関との連携、相談支援体制整備への協力のため、外部会議への参加や研修講師派遣依頼を積極的に引き受けている。27 年度は、差別解消法施行準備や虐待対応の仕組みの再検討など、市レベルでの施策対応のための会議に参加することが目立った。

会議名	参加数	参加機関等	内容
連絡調整会議			
名東区地域包括ケア推進会議	1 回	区民の代表・医療関係者・介護保険事業者の代表・区社協・区・区基幹 C	部会報告・28 年度事業計画
名東区民ミーティング	1 回	名東区在住、在勤の関係者・区	協働、交流によるまちづくり
名古屋市障害者基幹相談支援 C 運営・調整会議	5 回	名古屋市関係課・関係機関・各区基幹 C	制度動向や市施策の説明、テーマ別の話し合いなど
名古屋市基幹 C 東ブロック会	5 回	中・昭和・千種・名東各区基幹 C	情報共有、課題検討
名古屋市施策推進協差別解消法施行準備部会	3 回	当事者団体の代表・関係する機関や団体・名古屋市	相談体制整備・市職員対応要領の検討
名古屋市虐待対応ハンドブック検討会	6 回	学識経験者・弁護士・区福祉課、保健所、基幹 C の代表・市虐待防止 C	虐待対応ハンドブックの作成
高次脳機能障害地域生活援助者養成研究事業	12 回	学識経験者・名古屋市総合リハ C・相談支援専門員	研修会の企画、実施・モデルケース支援・テキスト発行
愛知県障害者自立支援協議会	5 回	関係する機関や団体・当事者団体の代表・学識経験者・愛知県	部会：県主催・委託研修のあり方、次年度への提言 本会：各部会報告、障害福祉計画

			のチェック
相談支援従事者 指導者養成研修 検討会	1回	厚生労働省・各都道府 県からの検討委員	国研修の内容の検討
講師派遣			
民生・児童委員学 区協議会	6回	各学区の民生・児童委 員	依頼内容に応じた障害に関する 勉強会
民生・児童委員協 議会会長研修	1回	市内の民生・児童委員 学区協議会の会長	基幹相談支援センターの役割
愛知県相談支援 従事者現任研修	5回	愛知県主催	県内相談支援専門員の資格更新 研修
愛知県相談支援 従事者初任者研 修	9回	愛知県主催	県内障害福祉関係者の相談支援 専門員資格取得研修
相談支援従事者 指導者養成研修	1回 (3日)	厚生労働省主催	各都道府県を対象とした指導者 養成研修

4. 職員研修

基幹相談支援センターとして、地域の拠点機能を果たすことができるよう、研修成果の共有にも留意した。

開催日	名称・内容
5/21	国際福祉健康産業展 ウェルフェア 2015
6/22,25 7/16	愛知県相談支援従事者現任研修
7/29	地域生活支援拠点セミナー
10/2	名古屋市相談支援従事者研修 ～現場で活かせるスーパービジョン～
2/5,12 ,19	精神障がいについての理解(精神科医療について/地域医療連携について/精神疾患・障害を抱える方との関わり方)
2/13	第7回全国権利擁護フォーラム～意思決定支援～
2/16	精神障害者 地域移行・地域定着推進研修
3/5	知的障害・発達障害のある青少年の非行を防ぐために ～医療・司法・福祉の現場から～
3/7	名古屋市相談支援従事者研修 ～名古屋の計画相談の質の向上について～

指定相談事業所 はまなす

一昨年に事業を開始し、2年目となった今年度は、8月に相談員の交代などもあり、新規での契約は38件（うち法人内利用者19件）に留まった。

法人内のケースについては、徐々に他の相談事業所から変更をしてきており、今後の新規契約において最優先していきたい。

また、障害別では、知的障害に次いで身体障害が多数となっている。今後は精神障害の方々からの相談件数が増加していくことが予想される。

1. 契約者の内訳

【居 所】

	名古屋	日進	尾張旭	瀬戸	北名古屋	江南	愛西	計
人	86	11	2	2	1	1	1	104

【性 別】

	男	女	計
人	65	39	104

【障害種別】

	身体	知的	精神	計
人	14	78(11)	12	104

* () 内は児童の内訳

2. 職員研修

開催日	名称・内容
10/31	脳外傷リハビリテーション講習会

サービス品質の向上を目指した取り組み

名東福祉会は、提供するサービスの品質管理を法人全体で行いたいと考えています。法人・事業所の特色を生かしながら、利用者に満足していただけるサービスの提供を目指していきます。

そのためにも、人材育成やサービス改善の仕組みは必須です。

1. 委員会

【安全委員会】

(1) 目的

日常の支援の中での「気付き」が書かれているヒヤリ・ハット報告書の内容を分析し、特に事故や怪我につながる可能性が想定されるケースを中心に各事業所で検討するための情報提供をおこなう。

(2) 構成

各事業所希望職員 3名、本部長

(3) 活動報告

会議開催 8回 (4/24、5/22、7/24、8/28、9/25、10/23、12/25、1/22)

「安全委員会レポート」発行 3回 (6/1、9/1、1/1)

(4) 成果等

昨年度に引き続き、法人職員から挙げられているヒヤリ・ハット報告書の事例分析をおこなうことで、参加職員の事故や怪我につながる危険性を予測する力の向上が感じられた。

また「安全委員会レポート No3、No4、No5」に発行することで、各事業所に安全面に関する検討の機会を提供することができた。

【安心委員会】

(1) 目的

利用者が安心して利用できるプログラムを提供することを目的とし、職員の支援技術向上のため、利用者の行動に着目したアセスメント、支援ができるようになるために、実践に基づいた研修を実施した。

(2) 活動報告

4/1～4/28 天白ワークス支援計画作成会議

7/28 「自閉症の特性をふまえた行動のアセスメント」研修をもとに、支援におけるアセスメントの重要性について確認

12/8 KBPAC 実施

(3) 成果等

行動分析学を参考に、利用者の行動に着目したアセスメントができるようになることを目指した。前回実施してから時間をおいての KBPAC では前回以上の成績を各職員が出すことができ、知識を実践の中で活かし、また、実践から知識へと定着している様子が伺えた。

【接遇委員会】

(1) 目的

利用者への関わり方の質を向上させようとする姿勢が、虐待の防止や権利擁護につながると考え、日頃の支援のあり方について法人・事業所単位で振り返る機会を持つ。
また、その結果をフィードバックして、さらなる向上を促す。

(2) 構成

第1,2回 本部長・各事業所管理者

第3回 本部長・基幹相談支援センター長・各事業所職員

(3) 活動報告

	年月	内容
1	H27.6	虐待防止チェックリストに基づく事業所毎の振り返りと法人内での共有
2	11	〃
3	H28.3	愛知県主催の権利擁護・虐待防止研修に参加した職員による意見交換と、今後の取り組みの検討

(4) 成果等

各事業所での日常業務の振り返りや法人内での共有は、前年度から継続しているが、今年度から職員全体へのフィードバックとして、「接遇委員会 REPORT」の発行を始めた。
また、外部研修への職員の参加を通じて、必要な知識や支援姿勢を学んでもらうとともに、職員自身に接遇の向上や虐待防止の取り組みについて考えてもらう機会を持つことができた。

今後も、「振り返り→共有→フィードバック」を継続し、接遇向上の意識を高める機会としていきたい。

【給食委員会】

(1) 目的

提供される給食の内容を検討することにより、より安全で、品質の高い食事提供を目指す。

また、委託業者と法人が食事提供に関して共通の目標を持って取り組むことができていることを確認する。

(2) 構成

法人：本部長、レジデンス日進所長、栄養士、事業所支援員各1名

委託業者：エリアマネージャー1名、管理栄養士2名

(3) 活動報告

毎月第2木曜日に開催

- ・ 前月の給食内容（献立・提供方法など）についての検討
- ・ 利用者個別対応の確認（健康・食品アレルギー等の考慮）
- ・ 新規メニューを含めた献立の検討
- ・ 衛生面、感染症対応の確認

(4) 成果等

味付け、食材のバランス等、委託業者の献立作成の参考となるような話し合いをおこなうことができた。

特に、食品アレルギーの代替メニューについて障害特性を考慮しての提供方法について、委託業者との確認することができた。

2. 機関誌「WORKS」編集部

法人機関誌「WORKS」を発行。事業の紹介や制度動向、関連領域の話題を通じて、障害福祉サービスのあり方を提言していく。

法人利用者、職員、後援会員、関係団体等に配布・送付している。

No.136 (6月発行)

「障害者施設の日中活動」 理事長 加藤久和

「『働く』力を把握しよう」 名東区障害者基幹相談支援センター長 小島一郎

No.137 (2月発行)

「後援会プロジェクトの活動を振り返って」

法人後援会プロジェクトメンバー 加藤佳子

「『勉強会（仮）』に糖分は必要か？」 名東区障害者基幹相談支援センター 吉田安伸

決算報告

施設・事業所 一覧

社会福祉法人 名東福祉会 (昭和 56 年 8 月 認可)

法人事務センター 〒470-0124 日進市浅田町上納 58-4
TEL(052)805-1003 FAX(052)805-1004

法人ホームページ <http://www.meito.or.jp/>

種 別	名 称	住 所	電話番号	FAX 番号	E-mail
生活介護 就労継続 B 型	メイトウ・ワークス	〒465-0055 名古屋市名東区勢子坊 2-1303	(052)702-2864	(052)701-2079	meitoworks@meito.or.jp
相談支援	名東区障害者基幹 相談支援センター	同 上	(052)702-2863	同 上	同 上
生活介護 就労継続 B 型	天白ワークス	〒468-0023 名古屋市天白区御前場町 327	(052)804-5487	(052)804-5416	tenpaku@meito.or.jp
生活介護 相談支援	はまなす	〒465-0054 名古屋市名東区高針台 1-911	(052)704-7551	(052)704-7552	hamanasu@meito.or.jp
施設入所支援 生活介護 就労継続 B 型	レジデンス日進	〒470-0124 日進市浅田町上納 58-4	(052)805-1003	(052)805-1004	nissin@meito.or.jp
グループ ホーム	上ノ山ホーム	〒470-0124 日進市浅田町上ノ山 12-1	(052)808-4878	(052)808-4878	